

テーマ

イ. ニーズの変化に対応できる地域組織の運営

- ・グループ討議で出た意見を、事務局において「原因」「対策」「実践」に区分して記載してあります。
- ・今後さらに検討を行い、「ロジックツリー」としてまとめていきます。

主要課題	原因	対策	実践
<p>地域組織は、どうすれば新たなニーズを把握できるか。また、それを受け入れる柔軟な体制づくりができるか。</p>	<p>行事が維持できない</p> <p>「市の下請け」的役割(終わったらもうごめん)</p> <p>役員...嫌。大変なイメージ。大変な割りに評価されな</p> <p>役が回ってこないように思っている(受身)</p> <p>地縁団体なので嫌でもやらざるを得ない</p> <p>役員はみんなやりたくないから輪番制</p> <p>役員がすぐに変わってし</p> <p>役員同士の信頼関係が欠けている</p> <p>地域の仕事は町会長一人だけが背負っており、新しいことができない</p> <p>事務できる人が少ない</p> <p>そもそもニーズの変化に気づけている?</p> <p>古くからの住民は変化を</p> <p>同じ事をやった方が無難</p> <p>組織が旧態依然</p> <p>若い人...出てきてもおじいちゃんおばあちゃんに「行け」と言われて出てきただけ意見が出てこない</p> <p>少子化で人(次の世代)がいない</p> <p>会議で決まったことがすぐオープンにならない</p> <p>空き家が増えている</p> <p>町会収入が減っている</p> <p>青山様やろうにも杉がない三九郎やろうにも田んぼがない</p>	<p>行事の簡素化</p> <p>負担の分散</p> <p>雰囲気作り</p> <p>住民が役員を評価する役員が名譽心を持てるようにする</p> <p>住民が貢献したいという心を持てるようにしていく必</p> <p>前任役員との合意形成</p> <p>関係役員の有機的な協力体制</p> <p>役員との信頼関係の構築</p> <p>人的ネットワークの必要性</p> <p>多様な人を役員(当事者)に巻き込んでいく</p> <p>住民が何を思っているかをくみ上げられるか</p> <p>明確なビジョンの作成と共</p> <p>情報提供・情報共有</p>	<p>住民からのありがとうの声が続くチャラに</p> <p>町内会の活動を通して人の輪(和)ができた</p> <p>町会長が役員を一本釣りできるシステム</p> <p>町会長は他の役員に任せられることも必要</p> <p>副会長を女性に→女性の参加が増えた</p> <p>PTA役員を大事にして町会にうまく組み込んでいく</p> <p>地震をきっかけに国際班を作ったら外国人の町会加入率が100%になった</p> <p>子供たちにお願い→子供のアイデアで企画→見た事のない子供も参加</p> <p>意識の変化の実例の共有</p> <p>話し合い・ワークショップを繰り返す</p> <p>地域情報誌の発行</p> <p>住民一人ひとりでは解決できない問題も、市やサポセンに相談</p> <p>市や外部機関の支援</p>